

樹木選定について

樹種選定の考え方

○植栽のコンセプト: **「武蔵野林」**

照葉樹林帯であった関東平野が、人々の営みとともに「武蔵野林」と呼ばれる樹林地が形成されていった。その武蔵野林のイメージに調和した樹種選定を行う。

選定する樹種	説明	説明
<p>自生種</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関東圏に自然分布している樹種。また、移入植物でも日本に定着し久しく、調布市内でも頻繁に見かける品種も、彩を加える樹種として選定する。 例)クヌギ, シラカシ, クロガネモチ, ツバキ, ハナミズキ等 	 <p>クロガネモチ ツバキ シラカシ</p>
<p>調布市ゆかりの樹木</p>	<ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場において「我が街」として、来訪者への「歓迎の意」を表現するため、ゆかりの樹種を選定する。 例) ■市の木 …クスノキ ■市の花 …サルスベリ 	 <p>クスノキ サルスベリ</p>
<p>既存樹木</p>	<ul style="list-style-type: none"> 現位置のまま残されている樹木, 広場内に移植済みまたは移植予定の樹木, 苗圃へ移植済みで戻す樹木, 合計39本(常緑樹5種, 落葉樹8種)を活用する。 ■常緑樹…クスノキ, クロガネモチ, キンモクセイ, シラカシ, ヤブツバキ ■落葉樹…ウメ, ユリノキ, イチョウ, ケヤキ, サルスベリ, ノムラモミジ, ハナミズキ, ヒメシャラ 	 <p>ウメ ノムラモミジ キンモクセイ</p>
<p>補完する樹木</p>	<ul style="list-style-type: none"> 上記の高木のほか、目に留まりやすく四季の移ろいを感じられる中木, 低木, 地被類を、植栽景観を引き立てる補完的な添景樹木として植栽する。 例)ドウダンツツジ, ミツバツツジ, フイリアオキ, オタフクナンテン等 	 <p>ドウダンツツジ フイリアオキ</p>

樹木配置(案)



広場機能の方向性

○これまでの市民検討会やオープンハウスなどのご意見や、庁内協議などを踏まえ広場機能の方向性を設定した。

大屋根

- 大屋根は**設置しない**。
- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の観点から、駅出入口(広場口または中央口)と南北ロータリーを接続する上屋を設置する。
- 車両等の通行を想定し、上屋の一部を高くすることを検討する。

噴水

- 常設の噴水は**設置しない**。
- 「暑さ対策」「子どもが水と戯れる場の創出」の観点から、**ミスト等の設置や仮設による潤い空間の創出等を検討**する。

子どもの設え

- ベンチの配置等により、子どもの興味を引くような工夫を施す。

市政情報 発信機能

- 「市政情報」「イベント等の案内」「公共交通案内」などの情報を**デジタルサイネージや最新技術を活用し**、総合的に発信することを検討する。

公共施設棟

- 公共施設棟は**設置しない**。

観光案内機能

- 当面は、現在の観光案内所(ぬくもりステージョン)を活用する。
- 駅前広場内(地上)に**単独での建築物の設置は行わない**中で、観光案内機能を確保することを検討する。

トイレ

- トイレは**現在の仮設トイレ付近に設置**する。
- 施設のグレードや仕様、管理方法について検討する。

マンホールトイレ ・貯水槽

- マンホールトイレと貯水槽は、**駅前広場を含む周辺に設置**する。
- マンホールトイレの基数は、周辺の一時収容可能施設のトイレ不足を解消できる程度とする。

大屋根について

- 大屋根に求められる機能や想定されるコスト, 景観への影響を踏まえ, 大屋根は**設置しない。**
- バリアフリーの観点から, **駅出口と南北ロータリーをつなぐ上屋を設置**する。

大屋根に求められる機能

昨年度オープンハウスなどでの主な意見

災害時, 帰宅困難者になった際に滞留できるスペース

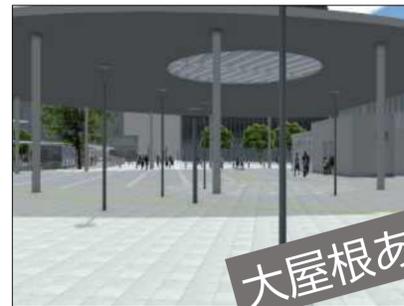
雨天時に傘を差さずに移動できる動線

想定されるコスト

整備費:**約5.0億円**

+さらに毎年維持費がかかる...

大屋根が与える景観への影響



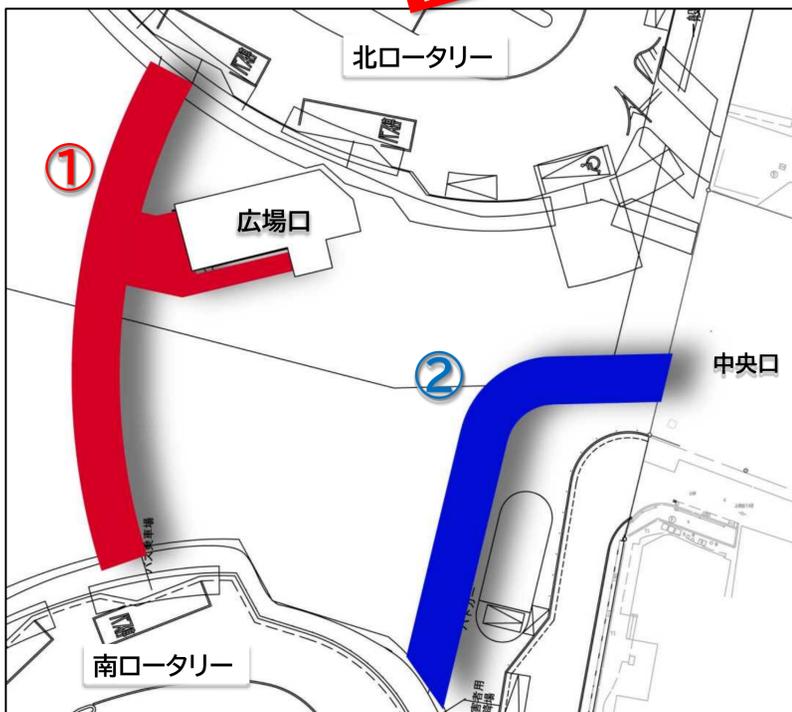
メリット

- 広い広場空間に日陰ができる
- 駅出口から雨にぬれずにバスロータリーへとアクセスできる

デメリット

- ▲圧迫感を感じる
- ▲京王線地下化によって得られた青空の景観が損なわれてしまう
- ▲周囲の商業施設等の視認性が損なわれてしまうため, 周辺店舗との慎重な調整が必要である

上屋の設置(案) **検討中**



① 広場口そば



- 【メリット】**
- 広場口を出てからバス乗り場にアクセスしやすい
 - 中央口前の空間に市の顔となるような設え(樹木など)を配置できる
 - 南側から北側バス乗り場への乗り換えがしやすい

- 【デメリット】**
- ▲駅出口から障害者乗降場へのアクセスがよくない
 - ▲広場空間が上屋によって分断されてしまう

② 中央口そば



- 【メリット】**
- 広場空間を広く取れる
 - 駅出入口から障害者乗降場を含む各方面へのアクセスが容易である
 - 比較的用户が多い中央口から屋根をかけられる

- 【デメリット】**
- ▲中央口前の設えが上屋によって制限されてしまう
 - ▲設置に係る京王(トリエ)側との調整が必要である

噴水について

- 常設の噴水は設置しない。
- 暑さ対策, 子どもが水と戯れる場の創出の観点からミスト等の設置や仮設による潤い空間の創出等を検討。

年々進む酷暑

出典:厚生労働省『熱中症による死亡者数(人口動態統計)』

年度	H12	H17	H22	H27	H30
死亡者数	207	328	1,731	970	1,581

平成22年を境に, 近年に向けて熱中症による死亡者数が増加

**自治体による熱中症対策の
必要性が高まる**



噴水大屋根に求められる機能
昨年度のオープンハウス等での主な意見

暑さ対策, 子どもの水遊び

しっかりとした水質管理



噴水の稼働停止

以下の理由で, 噴水を稼働停止もしくは撤去している自治体が増えている

- 節電対策
- 高額な修繕費
- 水質維持及び衛生管理が難しい
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止

潤い空間の事例

検討中

↑暑さ対策

子どもが水と戯れる場↓

①ミスト

風に流されにくいミスト

◆六本木ヒルズ(民間設置)



動線上に設置している事例

◆新橋駅前SL広場



クールスポットの事例

◆東京音楽大学 出典:株式会社いけうち



子供用ミストの事例

◆下師岡公園 出典:東京都瑞穂町HP



②仮設の水場

仮設ミスト

◆丸の内仲通り(民間設置)

出典:株式会社Do SCIENCE



仮設噴水・水遊び場

◆森のナイトカフェ(千葉県流山市)

①仮設式噴水



出典:森のナイトカフェ 公式FB

②子ども用水遊びブース



出典:流山市HP

◆東京タワー正面玄関

- 夏休みの子ども向け水遊びゾーン
「東京タワーちびっこ水遊び広場」を設置

③打ち水

打ち水システム

◆東京駅 丸の内駅前広場

- 2018年から東京駅で設置
(夏季9:00~17:00稼働)

打ち水イベント

◆東京都中野区 出典:中野区HP



市政情報発信機能について **検討中**

○「市政情報」「イベント等の案内」「公共交通案内」などの情報を **デジタルサイネージや最新技術を活用**し、総合的に発信することを検討する。

デジタルサイネージに求められる機能

昨年度のオープンハウス等での主な意見

- ・デジタルサイネージを利用し多目的に使えると良い
- ・バス停の行き先が分かりやすい案内図が欲しい
- ・多言語対応が必要
- ・情報発信の手段としてデジタルサイネージが必要



提供が望まれる情報

- 公共交通機関の運行情報(バス乗り場, 系統案内, 時刻表, バスロケ)
 - 観光に役立つ情報
 - 主な市政情報
 - 気象・災害情報
 - 駅前広場イベントスケジュール
 - 公共サイン
- 等

デジタルサイネージの事例

公共交通機関の運行情報 画像出典: 神奈川中央交通公式Facebook

ダイヤが一覧形式になっており、一目で乗りたいバスの時間と乗り場が分かる



市内の情報 画像出典: 熊谷市HP

市政, イベント, 災害について掲載



観光に役立つ情報 画像出典: 公益財団法人 東京観光財団

Discover & TOKYO (東京都)



広告枠を用い自主財源の回収に努める自治体(厚木市)

画像出典: 株式会社クラウドポイント



5分間隔で15秒の広告を6枠(1枠から提供可。最大連続6枠まで)

子どもの設えについて **検討中**

○ベンチの配置等により, 子ども(0歳~6歳程度)の興味を引くような工夫を施す。

子どもの設えに求められる機能

ベンチ等を設置した待ち合わせや語らいの空間

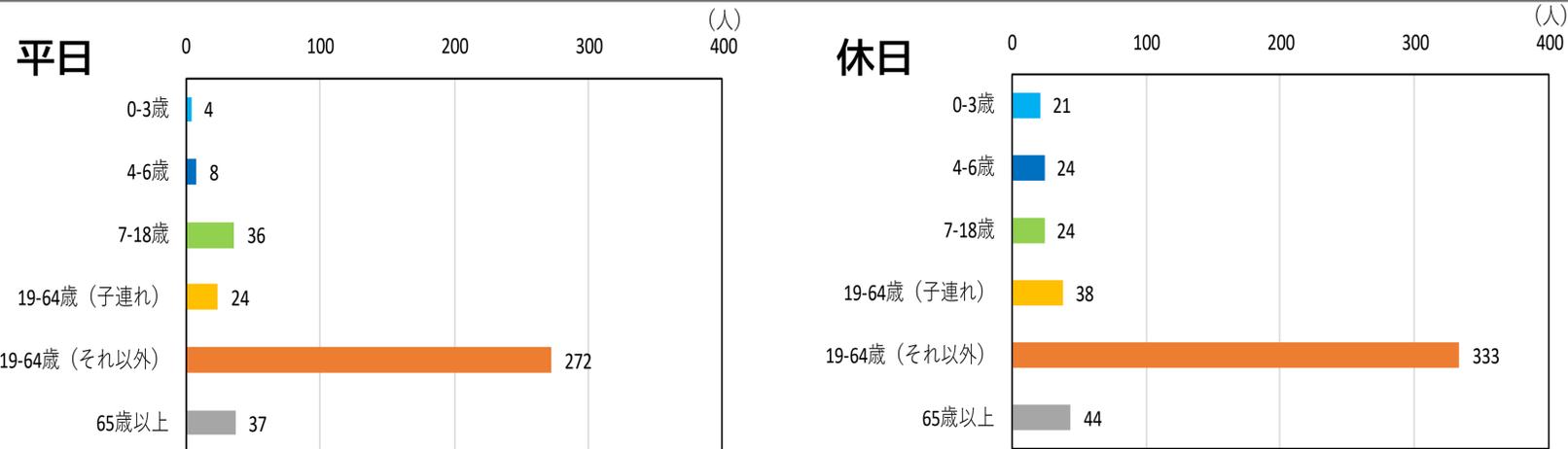
昨年度のオープンハウス等での主な意見

- ・ 歩行者との接触が心配
- ・ 車通りがそれなりにあるので子どもが走り回るような場所ではないと思う
- ・ 子どもが遊べる空間が欲しい, 駅前には買い物などで必ず通るので遊ばせられる
- ・ タコ公園のような場所が欲しい



タコ公園の代替について
⇒市役所裏の鉄道敷地にタコのすべり台を置いた公園を開園

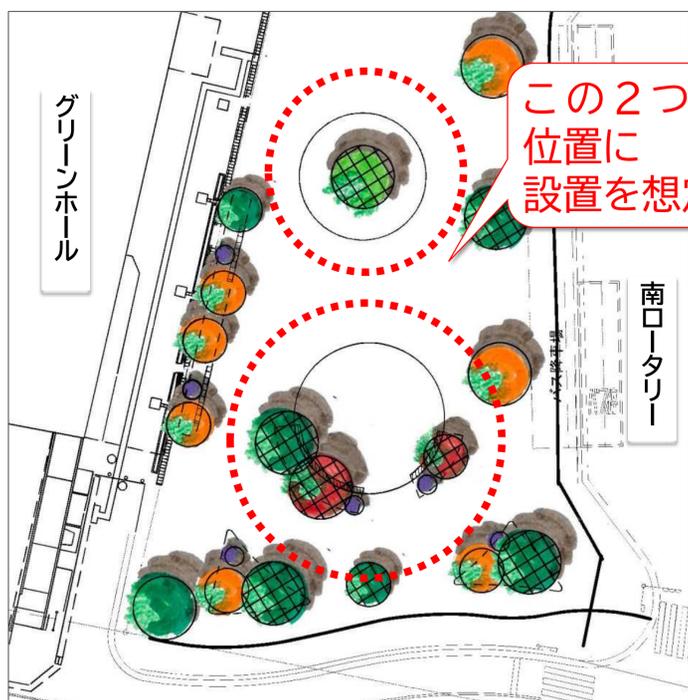
令和2年度調布駅前広場利用実態調査でみる年齢別利用者



○平日に比べ, 休日は0~6歳の子どもや19歳以上の子連れの利用者が増加
○しかし平日休日問わず子どもの利用者よりも19歳以上の利用者が大幅に多い

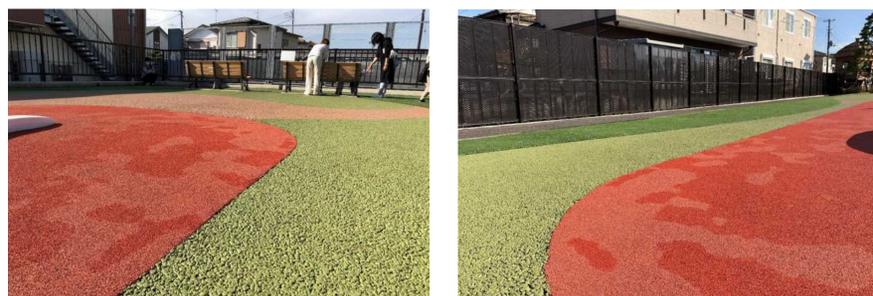
⇒子どもだけでなく大人も一緒に憩えるような設えを検討していく

子どもの設えの事例



○目の前のグリーンホールの雰囲気になさわしい、品のある落ち着いた空間づくりを検討していく。

子どもの安全に配慮した空間



ベンチとしての機能を果たすもの



画像出典: 株式会社コンパンプレイスケープ



画像出典: タカオ株式会社



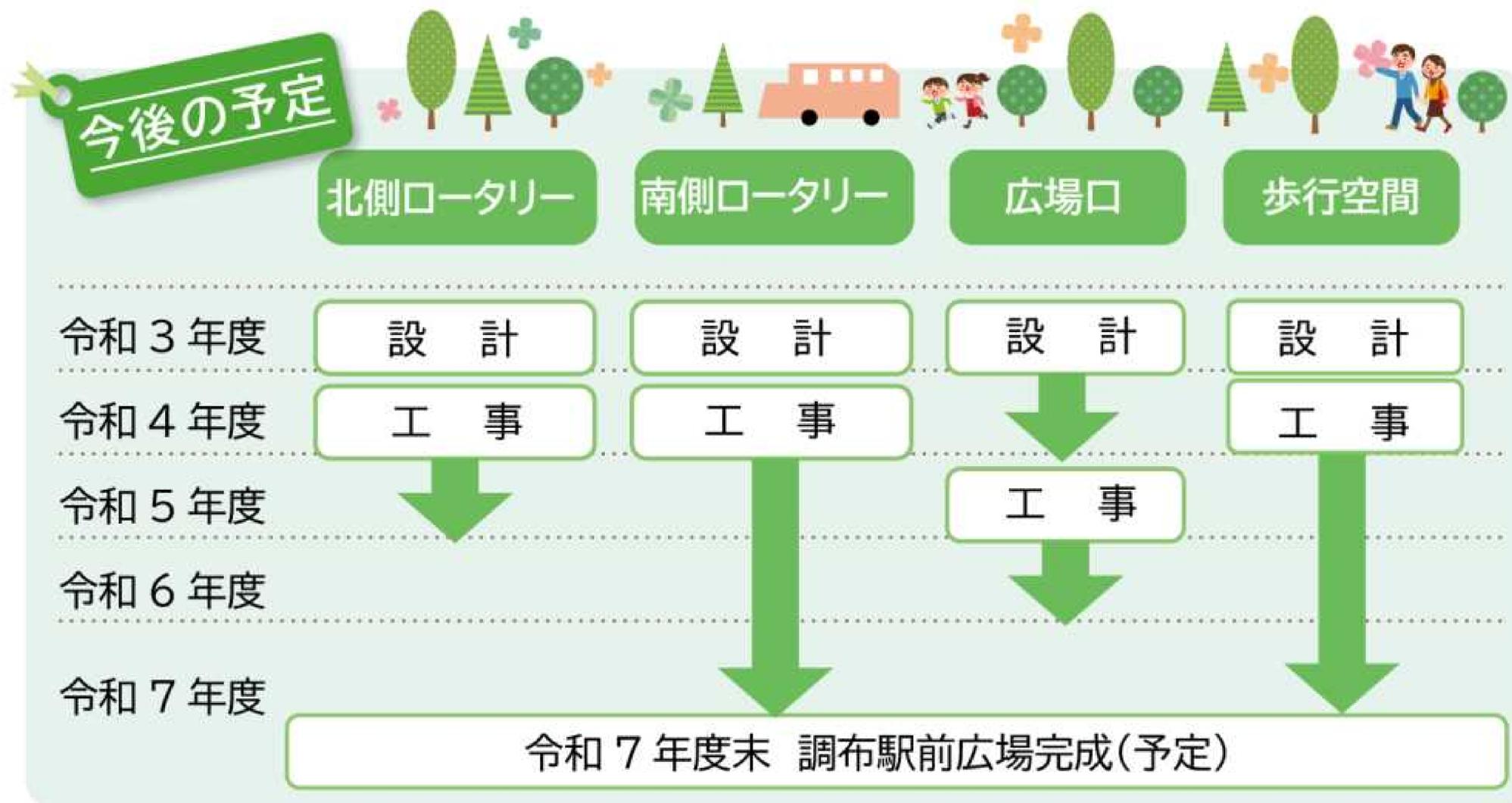
調布市では駅前広場の設えだけでなく、皆様に安心してご利用いただけるように、長年にわたり様々な市民の方と意見交換を重ねながら検討を進めております。

皆様に愛される駅前広場を目指して今後も整備を進めて参ります。

ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

(お問合せ先)調布市 都市整備部 街づくり事業課 整備係

TEL:042-481-7417



株立ちのケヤキについて

○令和7年度の調布駅前広場の完成に伴い、**株立ちのケヤキについては新しい位置へ移植**した上で、周辺の安全確保を前提に、保全します。

過去の既存樹木に対する検討経緯

平成28年	2月	<ul style="list-style-type: none"> さまざまな御意見を踏まえ「原則撤去」の方針を決定(記念樹的な樹木については多摩川市民広場へ移植)
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 市民意見を踏まえシンボルや記念樹となる樹木については現位置付近に保全し、1度の移植で対応可能な樹木を移植する案を検討
平成29年	2月	<ul style="list-style-type: none"> 2度移植も含めて既存樹木の最大限の保全案を検討
	4月 5月	<ul style="list-style-type: none"> 市議会からの意見を踏まえ、市民会議を3回開催
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 市民会議の内容を市議会へ報告 (樹木に関する市の基本的な考え方を公表) 調布駅前広場整備に関する説明会(第1回)
平成30年	1月	<ul style="list-style-type: none"> 調布駅前広場整備に関する説明会(第2回) 調布駅前広場の樹木移植等工事に関する説明会 ⇒イチョウ, ユリノキ含む6本の樹木の原位置保存, 株立ちのケヤキについては1度移植を報告
令和元年度		<ul style="list-style-type: none"> オープンハウス, 調布駅前ひろば検討会等の市民参加の結果を踏まえ、『令和7年度完成を前提に、南側ロータリーの一部の修正を総合調整』することを決定

要望書

御意見

令和元年度実施の市民参加を踏まえた決定事項

- ① 連立事業後の駅前広場の早期完成(令和7年度)
- ② 交通管理者協議を終了している中での総合調整
- ③ 上記理由で、南端の交差点形状は変更しない
- ④ **南側ロータリー形状の再確認・総合調整**
 * 南側ロータリー北端の**イチョウとユリノキの現位置保全**
 * 南側ロータリー西側の**歩行動線の改善と環境空間確保**
- ⑤ 現状のバス, タクシー乗降場等の確保
 (バス乗降場:6, タクシー乗降場:2,
 バス待機場:3, タクシー待機場:14)
- ⑥ 南側ロータリーの一部の修正に向けた総合調整を、交通管理者等の関係機関との限られた条件・期間での協議を市の責任で実施



現在の位置付けのとおりに

今年度中に移植を実施

株立ちのケヤキの移植について

株立ちのケヤキに関する対応方針

- 移植の検討** ケヤキの保全を考慮した工法検討
駅前広場のシンボルとなる移植先
- 意見交換** パネル展示などの市民意見を整理
樹木の専門家の意見に基づき検討
- 応急措置** 歩行者の安全を最優先した対応
ケヤキを保全するための養生
- 年度内に移植** 移植適期における施工実施で調整



樹木医による診断

診断結果(令和2年10月6日)

- 健全度「B2」(4段階評価の下から2番目)
- 樹形, 樹勢は比較的健全に近い
- 撤去が必要な枯れ枝が見られる
- 根元に根株腐朽菌が見られる
- 7本中2本の幹で38%の空洞率
- 今後, 重点的な経過観察が必要



③と④(⑥幹の後ろ側にある)で幹の空洞化が進んでいる

移植に当たっての留意点(樹木医からの指導)

- 株立ちのケヤキは, 根株腐朽菌(ベッコウタケ)に罹患している。
- 移植ストレスによる樹勢の悪化, 抵抗力の低下を抑えるため計画, 施工にあたっては以下の点に留意すること。

- 植栽時**
 - 根株の保護のため幹周辺の踏み固めを防止
 - 落枝事故防止のため樹冠下への立ち入りを制限
 - 良質な植栽土で改良し, 樹勢の回復を促進

- 施工時**
 - 移植は適期(落葉している12~2月)に実施
 - 移植後の養生(灌水, 幹巻, 立ち入り制限など)を実施
 - 移植先は, 倒木に備え支柱が立てられる広さを確保
 - 崩れやすい根鉢に配慮した施工方法を検討

移植における配慮事項(検討案)

- 移植時のストレス軽減**
 - 幹巻, 土壌改良を施し, 踏み固め防止を兼ねた広い植栽地を確保
 - 適期(落葉している12~2月)における移植を実施。運搬時の根崩れを防ぐため, クレーン車の旋回範囲内で移植先を計画
- 移植後の安全対策**
 - 散水栓の設置, また柵などを設けて樹冠下への立ち入りを制限
 - 支柱, 分岐枝を支えあうなどし, 倒木及び落枝の防止, 経過の観察
- 駅前のシンボルとして保全**
 - 様々な視座, 動線上から愛でられる移植先を検討(下図参照)

